

【阿蘇市】1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

阿蘇市は、「個別最適な学び」を実現する為のデジタルドリルの活用や急な休みや不登校の生徒のためにハイブリッド授業を行なっており、さらにこれからは、AIデジタルドリルを活用した「個別最適な学び」やクラウドツールを使用した「主体的な学び」の活用を加速し、情報化社会を生き抜く児童生徒のために情報活用能力推進を行なっていく。

2. GIGA第1期の総括

GIGA端末の整備と通信ネットワークの整備より情報活用推進体制が整った。ただ全校生徒がネットワークを利用した際の通信の付加や通信機器の不具合等も踏まえ、定期的なネットワークアセスの必要性を感じている。GIGA端末トラブル時のスムーズな代替機貸出も予備機が少なく課題となっている。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA端末の整備と通信ネットワークの整備やデジタルドリルや授業支援クラウドアプリケーションにより情報活用推進体制が整った。ただ課題として教育ダッシュボード^{※1}を活用した「個別最適な学び」「主体的な学び」の可視化策や先生方のデジタルデバイド^{※2}、教育情報セキュリティポリシーの周知徹底等が課題と感じている。それらの課題を克服するためにも、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持することが重要であると考えている。

用語解説

※1教育ダッシュボード：生徒たち一人一人の各種「教育データ」（学習状況・成績・出席等）を収集・可視化し分析を行う教員用システム

※2デジタルデバイド：情報格差、この場合はシステム利用者によるスキルの格差を指す